

# ノーリフティングケア マネジメント研修

## 本研修の目的

- ・事業所が一体となってノーリフティングケアを導入するための組織体制を構築する。
- ・移乗関連機器等を導入し、定着に向けた計画の立案、教育、実践ができる人材を育成する。
- ・腰痛を持っている人や誰もが働きやすい職場環境、また、腰痛による休職や離職のない職場づくりを目指す。

- **日時** 下記参照 **研修時間** 9:30～16:30（受付 9:15～）
- **会場** 総合リハビリテーションセンター 福祉のまちづくり研究所 1階 介護実習室（神戸市西区曙町 1070）
- **募集数** 5施設（申込が5施設を越えた場合は選考します。）  
※本研修は5日間の研修です。全て受講する必要があります。

## [受講について] ※詳細はお問い合わせください。

- ・本研修を受講することが、兵庫県の認定する『ひょうごノーリフティングケアモデル施設』の申請要件となっており、モデル施設を目指す事業所を優先し、選考します。
- ・本研修は、事業所単位での取組みになります。  
研修は、役割に応じた5名程度で参加する必要があります。役割の詳細については、別紙をご参照ください。
- ・下記のノーリフティングケア研修を全て受講する必要があります。各研修の受講はマネジメント研修の開始後でも構いませんが、腰痛予防推進研修は1回/年開催のため、ご注意ください。

## [ノーリフティングケア研修] ※以下の研修を全て受講する必要があります。

- ・利用者との介護者の体を守る介護技術研修（起居動作介助編）
- ・利用者との介護者の体を守る介護技術研修（姿勢管理編）
- ・利用者との介護者の体を守る介護技術研修（移乗介助Ⅰ 移乗動作編）
- ・利用者との介護者の体を守る介護技術研修（移乗介助Ⅱ 移乗用リフト編）
- ・腰痛予防推進研修（2日間）※1回/年開催

## ○ 研修内容[プログラム](予定)

	日付	時間	内容	講師
1日目	9月11日(金)	(午前)	・ノーリフティングケアの取組み方法を学ぶ ・マネジメントの概念を学ぶ ・PDCAサイクルについて学ぶ ・教育の進め方や役割分担を確認する ・課題を分析し、解決に向けた実践を行う ・各開催日に実践内容等を報告する	ナチュラルハートフル ケアネットワーク兵庫  眞藤 英恵 氏 正木 健一 氏 藤井 幸 氏
2日目	9月12日(土)	9:30～		
3日目	11月12日(木)	12:00		
4日目	12月11日(金)	(午後) 13:00～		
5日目	令和9年1月16日(土)	16:30		

- **受講料** 1施設につき88,000円（支払い方法は、振込のみとなります。）
- **申込締め切り日** ~~令和8年8月3日(月) 12:00(正午)まで~~  
**令和8年6月12日(金) 17:00までに変更いたします。**
- **申込方法**  
**福祉のまちづくり研究所(研修部門)ホームページの『ノーリフティングケア研修』から当該研修を選択し、申込フォームからお申し込みください。**  
ホームページ(研修部門) <https://assistech.hwc.or.jp/category-kensyu/>  
※申し込みに記載されている個人情報は、名簿の作成等、研修事業以外の目的には使用しません。
- **受講可否通知方法**  
申し込み締め切り後、郵送にて通知。申し込み締め切り後2週間以内に連絡がない場合は、お問い合わせください。

- **説明会** 令和8年8月19日（水）に、研修の事前説明会を行いますので、必ずご参加ください。  
※説明会はオンラインで開催予定です。  
受講決定後、施設連絡先メールアドレスに開催時間等連絡いたします。

**問合せ先**

福祉のまちづくり研究所 研修センター ノーリフティングケア研修担当：松井  
質問・お問合せ（研修部門）> [https://assistech.hwc.or.jp/contact-page/contact\\_kensyu/](https://assistech.hwc.or.jp/contact-page/contact_kensyu/)  
※ご質問・お問合せは、当方ホームページ『研修部門のお問合せ』からお願いします。

## ◇令和8年度 ノーリフティングケアマネジメント研修 役割について◇

役割	内容	対象
管理者（統括リーダー）	・組織の体制作り、全職員への周知、 進捗状況の管理・マネジメント 等	施設長、副施設長、事務長、部門長 または、上記に準ずる役職の方
教育担当	・教育体制を整える（計画立案） ・ノーリフティングケアの必要性や 理念を伝え、職員の教育を行う	ノーリフティングケアに必要な介 護技術や、理念などについて理解 し、職員へ教育する立場の方 ※介護技術研修を受講（受講予定） の介護リーダーなど
福祉用具担当	・保有する福祉用具の保守・管理 ・導入計画の立案 ・用具の使い方の指導	福祉用具の管理や、使用方法の指導 が行える職種もしくは職員 ※介護技術研修を受講（受講予定） の介護リーダーなど
職員の健康管理担当	・腰痛調査等の結果を分析し、腰痛発 生リスクの高い介護内容を分析し、改 善策を立案する ・職員の腰痛保有率や個別のリスク を把握し、対策を講じる	介護現場の課題を良く知る職員、課 題を分析し、取組を進めることがで きる職員など
アセスメント・プランニング担 当	・通常のケアプランの見直しではな く、ノーリフティングケアの理念や考 え方を取り入れたアセスメントを行 い、ケア方法を変更する	対象者のアセスメントスキルを有 し、ノーリフティングに関するプラ ンニングができる職員。 また、ノーリフティングケアの理念 をもとに、プランを修正できる方 ※利用者の能力・生活に合わせて、起居・ 移乗のプランを担っている方

## ※留意事項

1. 上記の役割について、役割ごとに「担当者」をお決めください。研修内では、各役割に応じた課題が出されますので、複数の役割を担うことは可能ですが、それぞれに職員を振り分けることを推奨します。
2. 振り分けた職員等でプロジェクトチーム（ノーリフティング委員会等）を立ち上げ、チームの位置づけや既存の委員会との連携方法などを明確にしてください。
3. 本研修の取組みは組織で取り組んでいただきます。一部の職員のみでの取り組みや、限定された部署での取り組みではなく、事業所全体で取り組めるように施設代表者様・管理者様のご配慮をお願いいたします。
4. 本研修は、法人単位の申込ではなく、施設・事業所単位でのお申し込みが必要です。  
(同法人の複数事業所から合同で受講することはできません。事業所ごとにお申し込みください)

※なお、組織体制作りや、役割の詳細については「ノーリフティングケアマネジメント研修 事前説明会」で説明させていただきます。受講決定された施設・事業所様は、各役割の担当者とともに、ご参加ください。